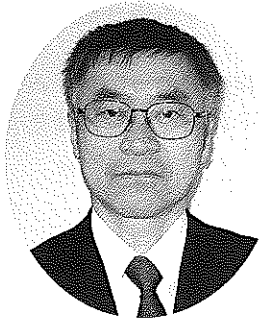


■ 寄 稿 ■

『住みやすく環境にやさしい都市づくり』



埼玉県都市整備部設備課
課長 田嶋 義明

一般社団法人埼玉県設備設計事務所協会会員の皆様方には、日ごろ、設備業務推進にご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。また、より良い設備設計のために日々努力されていることに、あらためて敬意を表します。

さて、埼玉県都市整備部では、東日本大震災を契機に「災害に強いまちづくり」を目標とし、まちづくり事業を進めてまいりました。

今年度は、災害対策はもとより、「住みやすく環境にやさしい都市」、「個性と魅力ある元気な都市」となるよう、事業を展開しております。

今年度、新たに手がけている主な事業ですが、まず、住みやすく環境にやさしい都市づくりのため、「西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）」において、自然エネルギー利用としての太陽光発電設備、地中熱利用設備や雨水利用設備を設置し、また、省エネが期待できる高効率機器やビルエネルギーマネジメントシステムを設置するなど、創エネ・省エネなど環境に配慮した施設づくりのモデルを整備いたします。

他の施設においても、創エネ・省エネを積極的に取り入れてまいります。

次に、個性と魅力ある元気な都市をつくるため、駅を核とした新たなまちづくりや、県営公園の整備を推進します。

さらに、誰もが安心して暮らせる都市づくりのため、緊急輸送道路沿道建築物耐震化補助の充実や公共下水道マンホールの浮上防止対策を行ってまいります。県営公園では、防災機能の強化を図るため、自己発電型照明灯やマンホールトイレなどを整備いたします。

これらの事業の実現のため、設備課としましても「住みやすく環境にやさしい都市づくり」を主要テーマとして努力しております。しかし、当課の力だけでは不十分であり、高い技術力を持った貴協会会員の方々の御協力が不可欠です。今後もより一層の御支援と御協力をお願いいたします。

結びに、一般社団法人埼玉県設備設計事務所協会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。